



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. 注意事項
 - 2.1. 本書について
 - 2.2. ドキュメントのカスタマイズについて
- 3. Sphinxビルド環境の構築
 - 3.1. Sphinx セットアップ
 - 3.2. 動作確認
- 4. 全文検索エンジンの利用
 - 4.1. node セットアップ
 - 4.2. oktavia セットアップ
 - 4.3. Sphinx ドキュメントへの適用
 - 4.4. 動作確認
 - 4.5. 全文検索エンジンを利用しない場合
- 5. ドキュメントのディレクトリ構成と各種ファイル
 - 5.1. ディレクトリ構成
 - 5.2. 各ファイル
 - 5.2.1. conf.py ファイル
 - 5.2.2. テーマ
 - 5.2.3. rst ファイル
- 6. サードパーティ ライセンス一覧

変更年月日	変更内容
2015-05-29	初版
2016-09-01	第2版 下記を追加しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「全文検索エンジンの利用」 - 「動作確認」において、注意事項をコラムとして追加
2023-10-01	第3版 Sphinxインストーラの取得先を変更しました <ul style="list-style-type: none">▪ 「Sphinx ビルド環境の構築」において、インストーラの取得先URLを変更

本書について

- 弊社から提供した状態の ドキュメントのソースをビルドし、HTML版のドキュメントを生成するまでの手順書です。



注意

Windows環境を例とした構築とビルド手順です。

ドキュメントのカスタマイズについて

- Sphinxの使い方・利用方法などについては、サポート対象外とさせて頂きます。あらかじめご了承ください。
Sphinxについては、<<http://sphinx-users.jp/reverse-dict/index.html>> 等を参考にしてください。
- 弊社から提供後にカスタマイズされたソースにおいて、ビルドエラー等が発生しても、弊社では対応致しかねます。
弊社から提供した状態のソースは、ビルドは成功している状態です。

項目

- Sphinx セットアップ
- 動作確認

Sphinx セットアップ

1. インストーラをダウンロードします。
[Sphinx公式サイト](#) からダウンロードします。



注意

最新バージョンでは正常にビルドされません。

2. インストーラを起動しセットアップを行います。



コラム

インストール先として次のパスを指定します。

例 : C:\Sphinx

3. 環境変数PATHに追加されている事を確認します。



コラム

例 : C:\Sphinx\bin

動作確認

1. Sphinxソースをビルドします。

- 任意のディレクトリに配置したSphinxソースのプロジェクトに、コマンドプロンプトで開きます。



コラム

例 : intra-mart Accel Platform 一般ユーザガイド

C:\user_guide

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\intra-mart>cd c:\user_guide
```

- コマンドプロンプト上で、次のコマンドを入力します。

make html

```
C:\Windows\system32\cmd.exe
Microsoft Windows [Version 6.1.7601]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\intra-mart>cd c:\user_guide

c:\user_guide>make html
```

ビルドが完了すると、次のメッセージが表示されます。

Build finished. The HTML pages are in build/html.

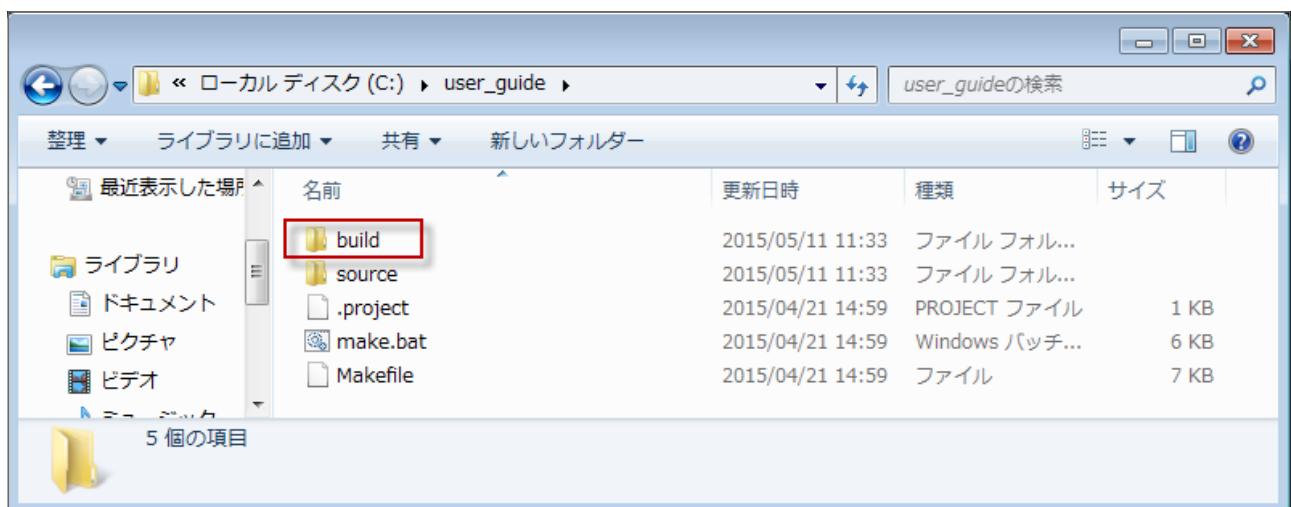
```
copying images... [ 96%] _static/images/apply_guide_2/apply_guide_2_4.png
copying images... [ 97%] _static/images/apply_guide_2/apply_guide_2_5.png
copying images... [ 98%] _static/images/apply_guide_2/apply_guide_2_6.png
copying images... [100%] _static/images/apply_guide_6/apply_guide_6_5.png

copying static files... done
dumping search index... done
dumping object inventory... done
build succeeded, 2 warnings.
```

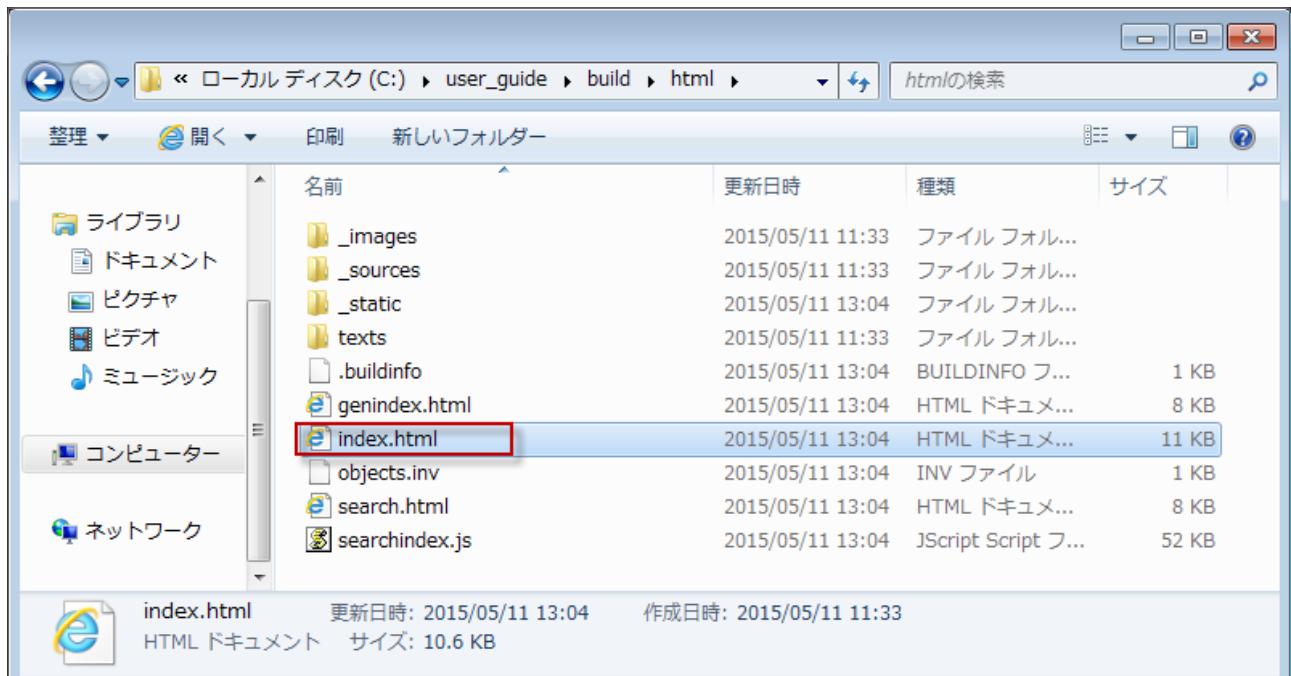
Build finished. The HTML pages are in build/html.

c:\\$user_guide>

- ビルドが完了すると、Sphinxソースのプロジェクトディレクトリ直下に **build/html** ディレクトリが生成され、html版のドキュメントが確認できます。



- build/htmlディレクトリ直下にある、 **index.html** ファイルを任意のブラウザで開きます。



html版のドキュメントをブラウザ上で確認できます。

The screenshot shows a web browser window with the following details:

- Title Bar:** C:\user_guide\build\html\index.html
- Address Bar:** intra-mart® intra-mart Accel Platform 一般ユーザ操作ガイド
第7版 2015-04-01
- Search Bar:** クイック検索 検索
- Content Area:** 显示 "目次" (Table of Contents)。下方列出了目录项。
- Bottom Right:** ↑ Top button

Table of Contents (目次):

- 改訂情報
- 個人設定について
- ログインする
- 基本編
 - パスワードを設定する
 - カレンダーを設定する
 - ロケールを設定する
 - 日付と時刻の形式を設定する
 - テーマを設定する
 - バナーを隠す
 - グローバルナビを設定する
 - デスクトップ通知をダウンロードする
 - プロファイルを編集する
 - メッセージ通知の設定を行う
 - サイトツアーを呼び出す

- ドキュメント内の全文検索を利用する場合次のセットアップが必要です。

項目

- node セットアップ
- oktavia セットアップ
- Sphinx ドキュメントへの適用
- 動作確認
- 全文検索エンジンを利用しない場合

node セットアップ

- インストーラをダウンロードします。

<https://nodejs.org/download/>

Sphinxをビルドする実行環境に合わせたインストーラをダウンロードします。

node-v0.12.2-x86.msi

node-v0.12.2-x64.msi

- インストーラを起動しセットアップを行います。

oktavia セットアップ

- インストーラをダウンロードします。

[oktavia.zip](#)

- 任意のディレクトリに展開します。



コラム

例 : C:\oktavia

Sphinx ドキュメントへの適用

- ビルドを実行するSphinxドキュメントの実行ファイルを編集します。

- 任意のディレクトリに配置したSphinxソースのプロジェクト直下にある、 **make.bat** ファイルをテキストエディタで開きます。



コラム

例 : intra-mart Accel Platform 一般ユーザガイド

C:\user_guide\make.bat

- L.51とL.52の間（下図の点線）に次のコマンドを追加します。

node %oktavia%を展開したディレクトリパス%/**bin/oktavia-mkindex-cli -i build/html -r build/html -m html -u file -f .content -c 5 -t web -o build/html/searchindex.js -l**



コラム

例 : C:\oktavia ディレクトリに展開した場合

node C:/oktavia/bin/oktavia-mkindex-cli -i build/html -r build/html -m html -u file -f .content -c 5 -t web -o build/html/searchindex.js -l

```

4 8 ↓
4 9 if "%1" == "html" (↓
5 0     %SPHINXBUILD% -b html %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/html↓
5 1     if errorlevel 1 exit /b 1↓
5 2     echo.↓
5 3     echo.Build finished. The HTML pages are in %BUILDDIR%/html.↓
5 4     goto end↓
5 5 )↓
5 6 ↓
5 7 if "%1" == "dirhtml" (↓
5 8     %SPHINXBUILD% -b dirhtml %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/dirhtml↓
5 9     if errorlevel 1 exit /b 1↓
6 0     echo.↓

```

```

4 8 ↓
4 9 if "%1" == "html" (↓
5 0     %SPHINXBUILD% -b html %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/html↓
5 1     node C:/oktavia.git/bin/oktavia-mkindex-cli -i build/html -r build/html -m html -u f
5 2     if errorlevel 1 exit /b 1↓
5 3     echo.↓
5 4     echo.Build finished. The HTML pages are in %BUILDDIR%/html.↓
5 5     goto end↓
5 6 )↓
5 7 ↓
5 8 if "%1" == "dirhtml" (↓
5 9     %SPHINXBUILD% -b dirhtml %ALLSPHINXOPTS% %BUILDDIR%/dirhtml↓
6 0     if errorlevel 1 exit /b 1↓

```

動作確認

- ビルドを行います。



コラム

ビルド方法は、「[動作確認](#)」を参照してください。

- html版のドキュメントをブラウザ上で確認します。



注意

ブラウザ上に表示した際、ブラウザによっては Worker のローカル実行に関するセキュリティエラーが発生します。この場合、全文検索が利用できません。

回避方法として、Webサーバにコンテンツの設定をして確認を行ってください。

ログインする – intra-mart Accel Platform
texts\home_guide\login.html
ログインする Webブラウザより以下のURLへアクセスします。ログイン画面:
http://login ノート 下記構築例の場合、ログイン画面へのURLは次の通りです。
ログイン

パスワードを忘れた場合 – intra-mart Accel Platform
texts\apply_guide\apply_guide_6.html
パスワードを忘れた場合一般ユーザがパスワードを忘れた場合に、パスワードを再設定させるパスワードリマインダ機能が用意されています。パスワードリマインダ機能が有効な場合、一般ユーザのログイン画面に「パスワード」を忘れた方はコチラリンクが表示されます。警告パスワードリマインダ機能を利用するには、テナント管理者によりシステム上にメールアドレスが登録されており、かつメールの受信が可能な環境である ...

マイメニューを設定する – intra-mart Accel Platform
texts\apply_guide\apply_guide_2.html
マイメニューを設定する intra-mart Accel Platform で使用できるメニューには以下の種類があります。グローバルナビ 一般ユーザが普段よく使うであろうメニューを画面上部に登録する機能です。画面上部のメニューエリアに表示され、目的のページに素早くアクセスが可能になります。また、認可を設定することで公開範囲を制限することができます。サイトマップ グローバルナビから参照できる機能で

全文検索エンジンを利用しない場合

- 全文検索（クリック検索）の部品を外す事ができます。

 - レイアウトファイルを編集します。
 - %Sphinx ドキュメントディレクトリ%/source/common_all\amy\layout.html をテキストエディタで開きます。

i コラム

例 : intra-mart Accel Platform 一般ユーザガイド
C:\user_guide\source\common_all\amy\layout.html

- L.96-L.98の3行をコメントアウトします。

```

92     <span class="heading-supplementation">{{ release }}</span>↓
93     </p>↓
94   </div>↓
95   ↓
96   <div class="quicksearch">↓
97     {- include "searchbox.html" %}↓
98   </div>↓
99   </div>↓
00   ↓
01   <div class="nav_topnav">↓
02     {{ amyNav() }}↓
03   </div>↓

```

- ビルドを行います。

i コラム

ビルド方法は、「[動作確認](#)」を参照してください。

html版のドキュメントをブラウザ上で確認できます。

The screenshot shows a web browser window with the following details:

- Title Bar:** C:\user_guide\build\html\index.html
- Address Bar:** 3. intra-mar...
- Content Area:** The page title is "intra-mart® intra-mart Accel Platform 一般ユーザ操作ガイド" (Version 7, April 2015). It features a table of contents on the left and a main content area on the right.
- Table of Contents:** Includes links such as "改訂情報", "個人設定について", "ログインする", "基本編" (with sub-links for password, calendar, clock, theme, banner, global navigation, desktop notifications, profile files, message notifications, and site tour), and "一覧".
- Right Side:** Includes a "Top" button and scroll bars.

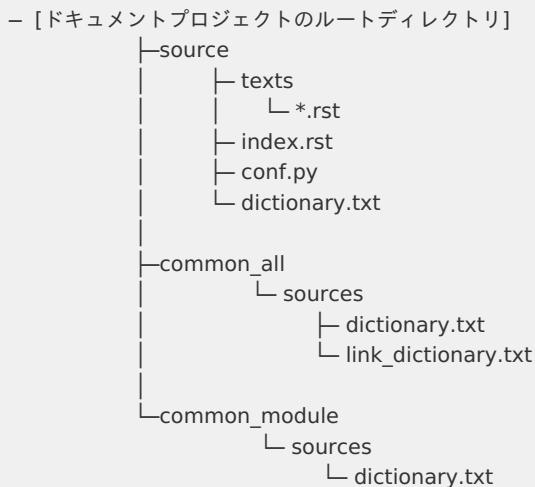
- カスタマイズを行うにあたってディレクトリ構成と各種ファイルについて説明します。

項目

- ディレクトリ構成
- 各ファイル
 - conf.py ファイル
 - テーマ
 - rst ファイル

ディレクトリ構成

- 主要なディレクトリとファイル



- sourceディレクトリ

実際のドキュメントのページとなるファイル群が含まれているディレクトリ

- common_allディレクトリ

intra-mart全ドキュメントで共通利用する辞書ファイル等の格納ディレクトリ

通常は、SVN上の別ディレクトリ上で管理され、外部参照する事で一元管理します。

- common_moduleディレクトリ

同一カテゴリ(機能) 単位で共通利用する辞書ファイル等の格納ディレクトリ

通常は、SVN上の別ディレクトリ上で管理され、外部参照する事で一元管理します。

各ファイル

conf.py ファイル

- ドキュメントを構成するための定義ファイルです。

テーマ

- source/conf.py ファイル 「html_theme」 要素で設定しています。

現在設定されているテーマは、intra-martオリジナルのテーマです。他のテーマに変更する事も可能です。

rst ファイル

- ドキュメントの内容が表示されるソースファイルです。

- Sphinx ドキュメントをビルドするために次のサードパーティ製品を利用しています。

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
Sphinx	1.3	GPL	http://www.sphinx-doc.org/en/stable/
oktavia	1.0	MIT	http://oktavia.info/ja/pages/license.html
node	0.12.2	MIT	https://nodejs.org/en/